

【総務大臣賞】Data StaRt Award～第6回地方公共団体における統計データ利活用表彰～

佐賀県
佐賀市

介護予防DX～データを活用した介護予防推進事業～

- ✓ 医療・介護等ビッグデータを活用し、関係者が連携して重症化リスクの高い高齢者の介護予防を実施
- ✓ 関係者が共通のビジョンを持ち、優先順位や役割分担を明確化し、地域との一体的な取り組みを実施

問題及び課題

今後、**高齢化の進展**や**コロナ禍**により、フレイルや認知症など、何らかの支援が必要な高齢者が更に増加していく

科学的根拠に基づく**効果的・効率的な対象者の抽出**や、介護予防のための**最適な支援を行う『仕組みづくり』**が急務

高齢者の重症化予防・介護予防の『佐賀市モデル』の確立

《ハイリスク者の抽出・階層化》

医療・介護・健診等データ

+

佐賀市の**独自データ**
(独居・フレイルの**リスクスコア**等)

○統計データと個人データ(レセプト)の活用→**エビデンス**



- ・生活習慣病
- ・医療費が高額な疾病
- ・未治療・中断者
- ・健診未受診者
- ・フレイル予備群
- ・多剤服薬者 等

優先順位の
明確化・
見える化

《課題解決に向けた具体的な取組》

保健師等→保健指導(食事・運動)
医療機関→治療(未治療・中断者)
民生委員→見守り(プレフレイル)

役割
分担

地域での実践!



○コロナ禍の対応

- ・データ利活用による必要最低限の訪問・支援
- ・勧奨通知等の非接触ツールの活用
- ・家族や身近な民生委員による支援

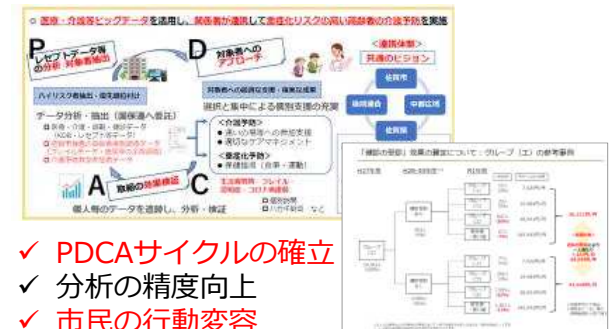
データ・
ノウハウ
の蓄積

データ利活用による健康状態や対応状況のマネジメント

《取組の継続とブラッシュアップ》

◎科学的根拠に基づく**効果・検証**

個人データを追跡し、行動変容の有無による医療費の比較



- ✓ PDCAサイクルの確立
- ✓ 分析の精度向上
- ✓ 市民の行動変容
- ✓ スモールサクセスの積み重ね
- ✓ アウトプットからアウトカムへ